

町史

とっておきの話

217

南相馬市博物館学芸員

稲葉 修

只見とっておきの魚たち ⑦

只見町には、
どんな淡水魚がいるの？

「自然首都・只見」として豊かな自然を誇る只見町には、いったいどれくらいの種類の淡水魚がいるのでしょうか。

最終回は、只見町の只見川・伊南川流域において、筆者がこれまで確認した淡水魚を掲載します。

コイやギンブナ、オイカワ、ニゴイなど只見町にふつうに生息している魚は、実は以前からいたものではなく、町外から持ち込まれたものです。

このような種類を国内外来種といいます。ニジマス、オオクチバス、ブルーギルは外国から持ち込まれた魚なので、国外外来種です。

そうしてみると、只見町にもともと生息していた魚は、意外と少ないのに驚かれます。意外です。わたしたち人間の活動が、自然や生態系を変え、絶滅に追いやった魚までいるのです。こ

れからは淡水魚をはじめ、いろいろな生き物たちが生息できる多様な環境を残していきたいものです。



只見町の魚・イワナ

科名	和名	只見の分布状況	備考
ヤツメウナギ科	カワヤツメ	●	絶滅危惧Ⅱ類(国)、未評価(県)
ウナギ科	ウナギ	□	野生個体は情報不足(国)
コイ科	ゲンゴロウブナ	○	国内外来種と思われる
	ギンブナ	○	国内外来種と思われる
	ハス	○	
	オイカワ	○	
	アブラハヤ	○	
	エソウグイ	●	絶滅のおそれのある地域個体群(東北地方(国)、未評価(県))
	ウグイ	●	
	モツゴ	○	
	カマツカ	●	在来種と思われる
	ニゴイ	○	国内外来種と思われる
イトモロコ	○		
ドジョウ科	ドジョウ	○	国内外来種と思われる(食用、水田耕作に伴う)
	シマドジョウ	○	
ギギ科	ギギ	○	
ナマズ科	ナマズ	○	
アカザ科	アカザ	○	絶滅危惧Ⅱ類(国)、準絶滅危惧(県)
キユウリウオ科	ワカサギ	○	
アユ科	アユ	□	
サケ科	ニジマス	△	
	イワナ	●	情報不足(国)※ツッコイワナとして
カジカ科	ヤマメ(サクラマス)	●	
	河川残留型	●	
フイツシユ科	陸封型カジカ	○	
	オオクチバス	○	準絶滅危惧(国)※大卵型として
ブルーギル	○		
トウヨシノボリ	○		

【凡例】 ●:もともと生息していた種 ○:国内から持ち込まれた種 △:国外から持ち込まれた種 □:もともと生息していた種が絶滅した後、養殖個体を放流したもの

※只見町で野生絶滅した種

科名	和名
ウナギ科	ウナギ
アユ科	アユ
サケ科	サケ
	サクラマス

(注)

1. この目録は、只見町(阿賀野川水系、只見川・伊南川流域)で確認した魚種(円口類含む)についてとりまとめたものです。

2. 和名は、中坊(編)(2000)「日本産魚類検索 全種の同定 第二版」、環境省(2007)報道発表付随リストに従いました。

3. コイ科のカマツカの在来分布、ニゴイの国内外来分布の考えについては、まだ不明な点があります。